

令和3年度 第2回 静岡市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和3年11月18日（木）14時00分から15時00分まで
- 2 場 所 静岡市役所 静岡庁舎 本館3階 第三委員会室
- 3 出席者 【委員】（敬称略）
遠藤 知里、木宮 敬信、森福 研一、祝原 豊、柴田 貴雄、川上 健治、
大島 友佳里、内川 麻衣子、今泉 幸広、中地 良成、米澤 恵里子、
山瀬 直子、早川 雅美、肝付 兼太
【事務局】
岡村観光交流文化局局次長
（スポーツ振興課）
杉山参与兼スポーツ振興課長、和田課長補佐兼推進係長、木村企画係長、野
崎施設第1係長、野末主査、太田主任主事、杉山舞主任主事
（スポーツ交流課）
長澤スポーツ交流課長、加納参事兼課長補佐兼スポーツツーリズム推進係長、
山野井ホームタウン推進係長
- 4 欠席者 片桐 晶子
- 5 傍聴者 1名
- 6 議 事 (1) 静岡市スポーツ推進計画の策定及び
静岡市スポーツ推進審議会のスケジュールについて
(2) 教育委員会からの諮問事項について
(3) 市民意識調査の速報値について
※今回の審議会は委員改選後、初めての委員会になるため、委員の委嘱（任命）
を行った後、会長及び副会長の選出をした。

7 会議概要

司会（木村企画係長）

<開会>

岡村観光交流文化局局次長

<挨拶>

司会（木村企画係長）

<委員の委嘱及び任命>

岡村観光交流文化局局次長から、委員を代表して内川委員に授与。

司会（木村企画係長）

<委員の自己紹介>

<事務局の自己紹介>

司会（木村企画係長）

<会長、副会長の選出>

柴田委員

会長には、木宮委員を推薦いたします。

木宮委員は、常葉大学教育学部の教授でいらっしゃいます。ご専門は安全教育学です。バスケットボールの指導者として、大学チームを全国レベルの強豪に育てられたほか、静岡県国体チームの監督も務められ、併せて競技の普及にもご尽力されており、スポーツ振興に関する豊富な知識と経験をお持ちでいらっしゃいます。

ぜひ、会長をお引き受けいただきたいと思います。

司会（木村企画係長）

ただいま、木宮委員のご推薦がありましたが、委員の皆様いかがでしょうか。承認いただける場合は、拍手をお願いいたします。

<拍手（異議なし）>

それでは、本審議会の会長を、木宮敬信委員をお願いいたします。

司会（木村企画係長）

続いて、条例第6条第4項に、会長の指名により副会長を置くことができる、と規定されています。木宮委員から副会長のご指名はありますでしょうか。

木宮会長

川上健治委員を指名します。

川上委員は、静岡県立清水特別支援学校の教諭でいらっしゃいます。

日本知的障がい者フットベースボール連盟 理事のほか、NPO法人静岡FIDサッカー連盟 役員としてサッカー教室を精力的に実施するなどご活躍され、障がい者スポーツに関して深い造詣をお持ちです。ぜひ、副会長をお願いしたいと思います。

司会（木村企画係長）

ただいま、会長より川上委員のご指名がありましたが、委員の皆様いかがでしょうか。

ご承認いただける場合は、拍手をお願いいたします。

<拍手（異議なし）>

それでは、本審議会の副会長を、川上健治委員をお願いいたします。

それでは、会長を木宮敬信委員、副会長を川上健治委員にお願いします。静岡市附属機関設置条例第6条の規定により、会長が議長の職を務めることになっておりますので、恐れ入りますが、木宮委員は会長席へ、川上委員は副会長席へ移動をお願いします。

それでは、代表しまして会長よりご挨拶をお願いしたいと思います。

木宮会長

<挨拶>

司会（木村企画係長）

- ・ 会議成立（委員半数以上の出席により会議成立）
- ・ 会議の公開
事前の傍聴希望者：1名 傍聴を認める。＜異議なし＞
当日の会議録は、市のホームページに掲載、情報公開する。＜異議なし＞
- ・ 会議録署名人の選出 遠藤委員＜承諾・異議なし＞
- ・ 配布資料の確認

報告（１）静岡市スポーツ推進計画の策定及び静岡市スポーツ推進審議会のスケジュールについて【資料１】

（２）教育委員会からの諮問事項について【資料２】

野末主査

○報告（１）と（２）は関連があるため、合わせて説明します。

資料１－１及び１－２により（１）を説明

- ・ 静岡市スポーツ推進計画の目的、位置づけ、基本方針、目標などについて説明
- ・ 事業の整理表を基に、施策の柱の指標に対する、令和元年度、令和２年度の実績を報告
- ・ 令和２年度の事業進捗状況の説明
- ・ 上記説明により、推進計画の概要と現状を委員に理解してもらい、今後の次期計画策定に向け準備を進める。
- ・ 策定に向けてのスケジュール案の説明（審議会の開催時期など）

資料２により（２）を説明

- ・ 教育委員会における諮問事項は「静岡市スポーツ推進計画の次期計画策定に向けた諸方策の検討」
- ・ 主なポイントの１つめは、計画策定にあたっては「スポーツ・イン・ライフ」の更なる推進、スポーツに対する関心度及びスポーツ実施率の低い世代に応じた施策、施策に関する関係部署及び団体、民間事業者との協力及び連携について重点的に議論すること。
- ・ ２つめは、スポーツ庁や静岡県が策定するスポーツ基本計画等や、第４次静岡市総合計画と連動したものとするを求められている。
- ・ 上記内容を踏まえ、策定を進めることになる。

<委員からの質問・意見>

- ・ 特になし

報告（３）市民意識調査の速報値について【資料３】

野末主査

資料３－１及び３－２により説明

- ・ 16歳以上の調査結果（資料３－１）について、週１回以上のスポーツ実施率は55.9%で、前回調査（H30年度）結果より、△0.8%となっている。また、目標値は68%となっているため、12.1%の開きがある。
- ・ 週３回以上のスポーツ実施率は36.8%で、前回調査（H30年度）結果より、+1.2%となっている。また、目標値は35%となっているため、1.8%上回っている。
- ・ 調査結果の簡単な分析は、これから委託業者と確認を行う。
- ・ その他、調査結果として、気になる箇所を赤字で記載してあるため、参考にしてほしい。
- ・ 次に小中学生の調査結果（資料３－２）について、週１回以上のスポーツ実施率は85.8%で、前回調査（H30年度）結果より、△5.8%となっている。また、目標値は83%となっているため、2.8%上回っている。
- ・ 週３回以上のスポーツ実施率は64.5%で、前回調査（H30年度）結果より、△5.7%となっている。また、目標値は50%となっているため、14.5%上回っている。

<委員からの質問・意見>

柴田委員

- ・ 今回の調査対象期間には、コロナで行動制限がかかっている時期も含まれているか。

野末主査

- ・ その期間も含まれている。（調査票の送付は8月中旬、調査票の間には「この１年間で」という文言が入っている。）

柴田委員

- ・ 多少実施率が下がるのは仕方のないことか。

野末主査

- ・ 想定していたよりは、下がっていないという印象である。

森福委員

- ・ 休校や部活動の自粛により、児童、生徒に肥満者が増えていると聞いている。コロナの影響はかなりあるのではという認識である。

今泉委員

- ・ 16歳以上の結果を見ると個人的にスポーツをする人、しない人の二極化の傾向があるように感じる。これは、普段スポーツをやらない人について、スポーツ離れが進んでいるという感想である。

木宮会長

- ・ 確かに二極化の傾向があり、やらない人達の層はますますスポーツをしないとなっているので、そこに働きかけていく方法はあるかということ。
- ・ 先ほどの諮問の内容にもあるように、7割の市民が言葉自体を知らないと回答した「スポーツ・イン・ライフ」をどう浸透させていくかということ。実施率を上げていくとなったときに今までイメージしていたスポーツじゃなくてもいいんだという認識を広めていかなければいけない。市民意識調査の中でも、なぜスポーツを行わないのかということに対し、時間が無いという回答が多かったが、例えば、日常生活の中で、エスカレーターではなく、階段を利用するなどの時間はとれると思う。
- ・ わざわざ体育館などに行って、荷物も持って半日運動する時間は無いと思うが「スポーツ・イン・ライフ」の認識を広め、理解されれば実施率は上がると思う。しかし、ただ実施率が（週1回の場合）68%になればいいというわけではなく、実施率を上げるのも大事だが、スポーツを行うと健康になるというような、本質的な視点も必要である。
- ・ また、小中学生の調査結果を見ると、子どもたちが現在興味を持っているスポーツがダンスや卓球など、昔とは傾向（子どもたちのやりたいスポーツ）が変わってきているというのを踏まえ、色々と考えいかなければならないと感じる。

米澤委員

- ・ なぜ運動をしないのかという問いに対して「その他」の回答数が多いと感じるが、その内容はどんなものになるのか。

野末主査

- ・ 今回お示した速報値では「その他」の内容まで把握していない。報告書として提出されるときに内容が確認できるので、もう少しお待ちいただきたい。

祝原委員

- ・ 今回の調査対象としては、小学生以上という形になっているが、小学校入学前に土台として体を動かすことや、スポーツに関心を持たせることが必要だと思うが、幼児に対する施策の成果みたいなものはあるのか。

野末主査

- ・ 幼児の体力測定結果みたいなものは、持ち合わせていない。例えば体力測定みたいなものというのも恐らく無いと思われる。

木宮会長

- ・ 幼児のときからスポーツ（特定の競技）に興味を持たせるような時代になっているという印象がある。

今泉委員

- ・ 幼児のスポーツとしては、小さいころから特定のスポーツだけやらせるというのは、あまり良くないことだと考えている。色々なスポーツを経験させたうえで、サッカーなどの競技を行うというのが理想的である。

木宮会長

- ・ 現在の速報値の他に今日の全体の中で、質問等は他にあるか。

<委員からの質問・意見>

- ・ 特になし

木宮会長

- ・ 以上ですべての議事が終了しましたので、議長の職を降り、事務局に進行をお願いする。

司会（木村企画係長）

- ・ 事務連絡として、次回の審議会までに委員の皆様にご依頼する作業について、事務局より説明を行う。

事務連絡 次回審議会までの作業依頼について

野末主査

「スポーツ推進審議会委員の皆さまへの作業依頼について」の資料を基に説明

- ・ 各委員の皆さまが「静岡市のスポーツ推進の目指す姿」を描いたうえで、ブレインストーミングの手法で、計画の方向性を議論していきたいと考えている。
- ・ 別紙「(仮) スポーツ推進計画 事業整理表」に、①現在やるべきもの、②今やりたいこと、③夢みたいなもの（実現は難しいが、これがあったら理想の静岡市と思うもの）の3つの考え方で「施策の柱と成果指標」「基本施策」の部分について、思いついたものを記載してください。
- ・ 報告事項での資料などを参考にし、12月17日(金)までに提出していただきたい。
- ・ 次回審議会は、令和4年2月頃開催予定